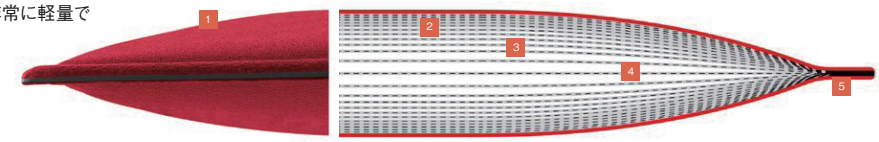
Snowsound Technology

La brillante intuizione alla base della tecnologia brevettata Snowsound è l'utilizzo di pannelli composti da materiale a densità variabile, che permette di ottenere un assorbimento selettivo alle diverse frequenze e quindi di ottimizzare l'acustica dell'ambiente nonostante lo spessore molto contenuto dei pannelli.
L'assenza di cornici e cuciture e la peculiarità del materiale con cui sono realizzati i pannelli, li rendono estremamente leggeri, poco ingombranti e adattabili ad ogni ambiente.

Snowsoundの特許の核心は、違う密度の素材の組み合わせです。
これにより、違った波長の音を吸収し、パネルの薄さにかかわらず
音響環境の最適化を実現しています。
通常、パネルにある様なフレームや縫い目がなく、非常に軽量で
目立たない為、様々な環境での対応が可能です。

1 Le superfici del pannello sono rivestite in tessuto di poliestere Trevira CS® solida-mente applicato all'imbottitura interna con la quale forma un corpo unico senza soluz-ione di continuità. Proprietà che permette di ott-enere una superficie che, pur essendo visivamente molto soft, risulta essere resistente, difficile da strappare e da perforare.

ポリエステル生地は、中芯と接着されて一体化しています。表面は、ソフトな
外見ですが、耐久性があり傷がつきにくい仕上げになっています。



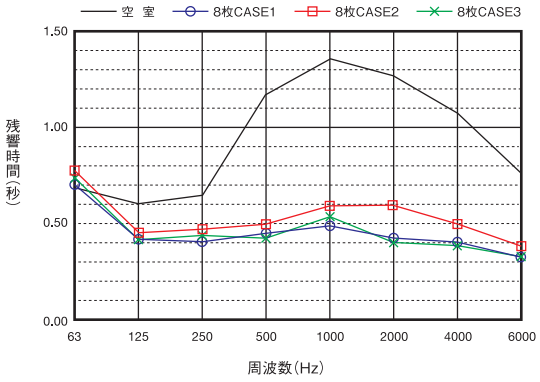
2 Poliestere ad alta densità. 高密度ポリエステル
3 Poliestere a media densità. 中密度ポリエステル
4 Poliestere a bassa densità. 低密度ポリエステル
5 Bordo rigido. 剛性エッジ

Experiment

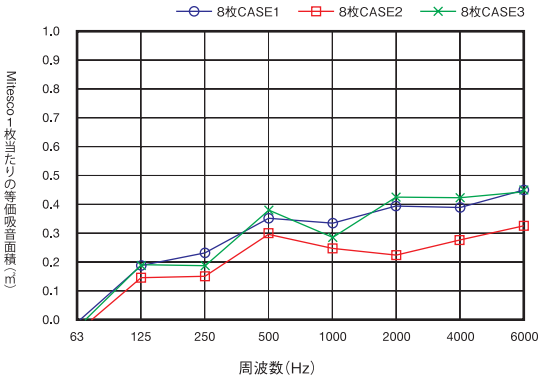
残響時間測定

残響時間は、音を室内に放射させ、定常状態に達した後、音源を停止させた時に、音の強さが60db減衰するまでの時間をいいます。
当社の測定方法は、部屋の隅部にスピーカーを設置し、測定用の音源を発生させ、各測定点において残響部分を含む音を収録し、その収録音から残響時間を求めています。(スイープパルス信号をスピーカーから発生させ、測定点で収録された音を分析器に取り込み、信号処理によりインパルス応答波形を分析し、残響時間を求めています。)

吸音パネル(商品名:ミテスコ　P.30〜)を設置しなかった空室の場合と、設置レイアウトを変更した3パターンをグラフ化しています。人の耳が聞くことのできる音の高さの範囲は、約20〜20,000ヘルツ(Hz)と言われています。人の耳の感度が高い1,000〜6,000ヘルツです。
解りやすい例としては、時報の最初の3音は40ヘルツと言われています。グラフでは、良く聞こえる周波数において、ミテスコを設置することで、残響時間が少なくなっていることを表しています。残響時間がどの程度改善するかを予測する際に、ミテスコの1枚当たりの等価吸音面積を用いる必要があります。



[Mitesco 8枚配置]の残響時間周波数特性

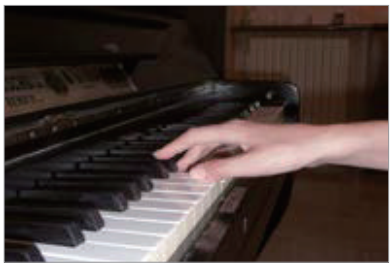
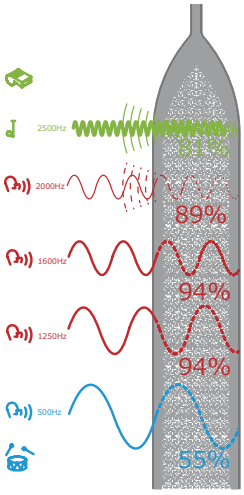


[Mitesco 8枚配置]の場合の等価吸音面積周波数特性

Sound quality

Il tubo di Kundt (UNI EN ISO 10534-2) permette di rilevare valori compresi tra 0 e 1 ovvero tra 0% e 100%,non confrontabili con i valori rilevati in camera riverberante (UNI EN ISO 354) che possono anche essere superiori a 1.

Kundt's Tube (全然吸音しない)は、0から1(100%　吸音する)までを測り反響をテストします。
値は音の波長によって異なり、右図にある様に500HZ(人が低音で話す波長)では55%の吸音、高い波長(高い声など)では100%近い吸音効果があります。



Kundt's tube - Caimi Acoustic Lab